

3月議会一般質問

保育所の統廃合問題について
統廃合 市民の意見をどう生かすか



質問する砂田市議

まえて、まず市の取り扱いを決め、もう一度ご意見を伺い、市の方針を決定していく予定だ。結論を出す時期は、半年、あるいは年内あたりをメドに思っている。

共産党のアンケートも参考させていたきたい

民生部次長

保育所の統廃合問題について、砂田市議は独自に行ったアンケート調査を元に、3月議会でも一般質問しました。

市説明会での意見

「なぜ統廃合か」など

砂田市議 保育所の統廃合問題について市は関係者から意見を聞いたが、どのような意見があったか。

民生部次長 「保育所の統合はなぜ行うのか」

「市はどのような理由で、統合保育所の場所や時期などは決まっているのか」、「保育所が統合されると地域の核がなくなり、一段と地域人口が減少するのではないか」、「通園バスはどのように運行するのか」、「病児・病後児保育とはどのようなものか」、「統合時の子どもたちへの対応はどのように行うか」など。

これら貴重な意見や心配をふ

保育サービスの充実と、保育料の軽減などが望まれている。

入所児童が多くなると「保育士たちの目が届かなくなるのではないか」との心配、保育所までの距離に対する心配なども見受けられる。

「地区に保育所が必要」とされる方が多いなともわかった。アンケートについては、今後の問題の取り扱いをどのようにするか判断の参考にさせていたきたい。



「保育料軽減を」

砂田市議 保育に期待するものは何かを伺ったところ

「保育料の引き下げ」が通園児の家庭では68%にも上った。

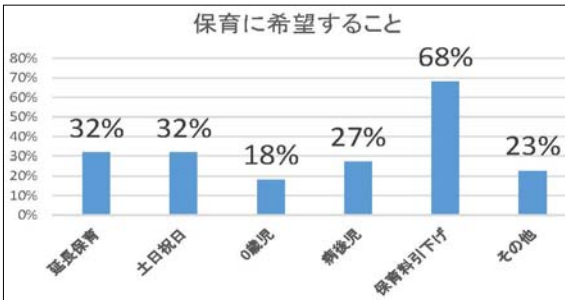
「義務教育と同様、保育料をタダに」との意見もあった。

民生部次長 平成27年度から第3子保育料の無料化を実施

平成28年度からは国の制度改正に伴い低所得階層における保育料の軽減、ひとり親世帯への軽減の拡充などを予定している。

今後とも国や県、他市町村の動向をふまえながら、より積極的な子育て支援事業のなかで

保育への希望すること市民アンケートの結果



「の声にこたえよ」

適正な保育料を検討して参りたい。

予算特別委員会

特定(メタボ)健診にJAいなばの半日ドック健診も取り入れよ

2015年度の特定健診の受診率目標は55%だが、実績は特定健診対象者5223人中2608人受診で、受診率50.3%(2014年度は健診対象者5313人中2686人受診、受診率50.6%)。これには北陸中央病院での人間ドック受診者数(2015年度274人、2014年度244人)もカウントされている。

も特定健診にカウントできる仕組みをつくるべきでないかとたずねました。

砂田市議 特定健診(メタボ健診)は何を目的にしてやるのか。

市民課長 健康促進を目的としている。

砂田市議 特定健診は以前行われていた健康診断の検査項目よりうんと少なくなったが、これよりもっとしっかりと健康診断をしたい人は人間ドックや厚生連高岡病院の半日ドックを受診している。ところがこうした方々のデータが特定健診の受診者に含まれていない。

ところがJAいなばの厚生連高岡病院で行う半日ドック健診受診者(2014年度で340名)は特定健診受診者数にはカウントされません。砂田市議はこれ

TPPで米価が下落しない保証はあるのか

砂田市議はTPP合意によつて別枠で輸入するコメが外食産業、中食産業に流れて米価が下がる仕組みや、政府備蓄米のやり方を変えて5年備蓄した古米を食糧用として市場に放出するかつての回転備蓄方式に戻したらいっそう米価が下がることにならぬ問題を指摘しました。

しかし、現実はどうか。米の消費量は毎年8万トンずつ需要が減っており、米価は下がり続けている。去年はちょうど上がったが、それでもその前々年を回復できていない。そこへ新たに輸入を増やしたら需給バランスが崩れないか。本当に下がらない保証はあるのか。

ここに価格の動向がかかっている。砂田市議 結局米価は下がる見通しではないか。これでは後継者問題がたいへん深刻になる。

下がる保証はない 自ら生産調整で需給バランスを

産業建設部次長

下がらないという保証は決してどこにもない。生産者が自覚を持って、生産調整して需給のバランスをとる

市民からの請願

「戦争法廃止を」 TPP批准するな 砂田市議が賛成討論

「戦争法廃止を」TPP批准するなとの2つの請願が、3月議会最終日の24日、採決が行われ、砂田市議は賛成討論をしましたが、自民党など他の議員が反対し、不採択となりました。